



広報

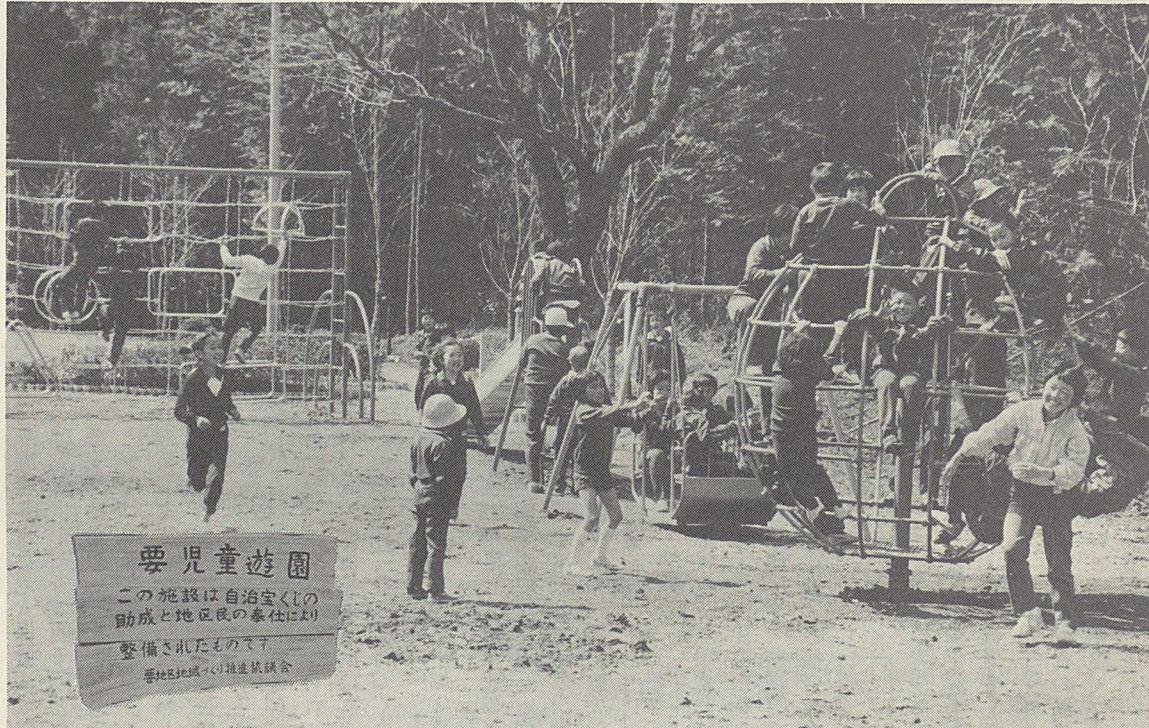
きたうら

No.230

昭和58年4月発行・編集／茨城県行方郡北浦村役場

人口と世帯数

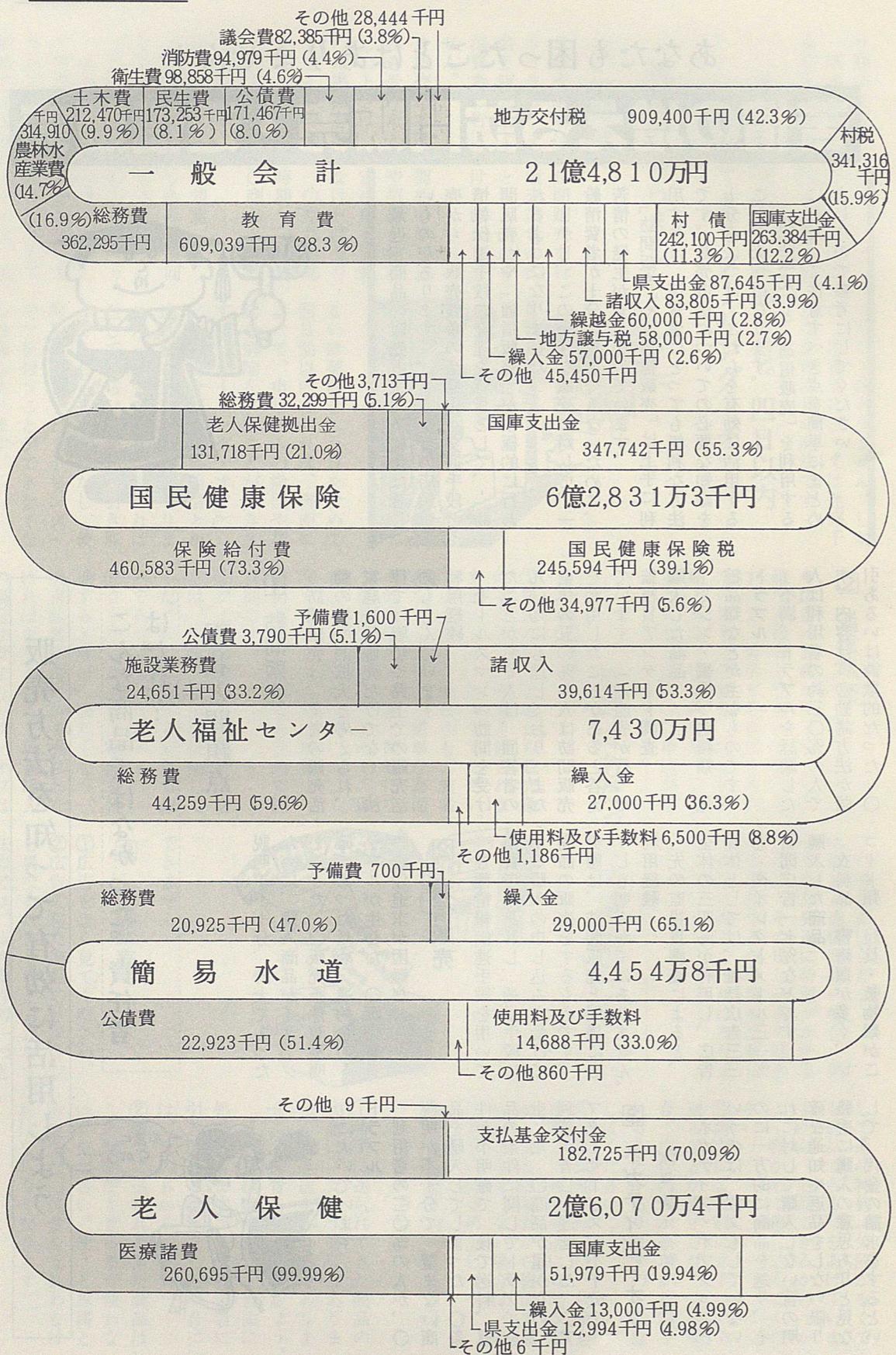
4月1日現在	
人 口	11,262(-13)
男	5,630(- 2)
女	5,632(-11)
世帯数	2,583(-13)



ふれあいの場から
住みよい地域づくり

かなめ児童遊園地

公園づくりは、育成会・老人会及び、要地区民の奉仕で行われました。園内にはクロッケーコート・ローラー滑り台・安全ブランコ・チェーンネットなどのほか、サクラ・イチョウ・サツキなどが植樹されています。なお、この施設は、自治宝くじのコミュニティ助成事業により整備したものです。



豊かな村づくりをめざして

昭和58年度の予算総額は

31億5,596万5千円

昭和五十八年度予算が、村議会第一回定期例会で可決されました。

一般会計予算は、二十一億四千八百十萬円で、昨年の当初予算に比べ五千三十万円と二・四割の伸び率、国民健康保険特別会計は、六億二千八百三十一万三千円で、昨年に比べ三千九万三千円と五割の伸び率、老人福祉センター特別会計は、七千四百三十万円で、昨年に比べて四百三十四万円五・五割のマイナス、簡易水道事業特別会計は、四千四百五十四万八千円で、昨年に比べて七十六万九千円一・七割のマイナス、また、二月一日よ

り施行された老人保健法に伴う老人保健特別会計は二億六千七百万四千円となっています。これらは予算は総額で三十一億五千五百九十六万五千円になり、昨年度当初予算より三億三千五百九十八万八千円、十一・九四割の上昇となっております

が、国全体の経済が低成長時代から脱し切れない状況であり、厳しい内容となっています。

これは一般会計予算の伸び率二・四割と過去最低の数字でもうらづけられ、このようなことから村では、財源を重点的にしかも効率的な配分につとめながら、豊かな村づくりをめざす方針です。

1 交通・広報

交通安全の意識高揚のため、交通安全草の根運動の推進・危険箇所へのカーブミラーの設置と安全協会等関連団体の育成事業。防災行政無線放送事業(最終年度)

農道整備事業として長沢地区・宮の下地区の改良工事、稻平武田地区の舗装工事。舗装、排水流末工事、後谷道・根木山道・三和小学校通学道・次木長久保道。改良工事、山田原北高岡道・学林馬道・武田小学校通学道。北浦・霞ヶ浦水質浄化のための生活雑排水処理施設の設置(五十基)

農業後継者結婚あせん事業。農地集団化及び水田利用再編特別対策事業(目標一七八・四へクタール)。病害虫防除補助事業。七年度よりの債務負担による自給肥料供給設施設設置事業。北浦・武田両土地改良区の土地改良事業。村商工会の育成。

老人保健法の施行に伴い、老人に対する医療の確保。成人病・胃ガン・婦人科ガン検診等。

青少年相談員を中心に行なう村内の青少年健全育成のための事業推進。

敬老会・金婚祝等の実施。乳児・母子・重度障害者を対象とした医療費の無料化。子供会育成事業の充実。

騒音防止対策として補助による津澄小学校の防音改築。婦人学級・家庭教育学級・青年教室の開設と社会教育の向上を図ります。

村民1人当たり及び一世帯当たりの村税の内訳

人口は11,295人 世帯は2,597戸 (3月1日現在)

村民税 固定資産税 軽自動車税

村たばこ消費税 電気税 特別土地保有税

1人当たり → 10,890円 13,098円 675円 3,076円 2,244円 233円

一世帯当たり → 47,363円 56,969円 2,936円 13,381円 9,761円 1,014円

（単位：円）

あなたも困ったことはありませんか

苦情の増える訪問販売・通信販売



こんな商品ではなかつた。責任者はだれ?

現状と問題点

最近、商品の販売方法の多様化は著しいものがあります。ごくふつうの店頭販

「訪問販売」から、「情報伝達手段の発達」を背景として、「訪問販売」や「通信販売」が積極的に行われるようになりました。しかし、このような販売に対して、一般消費者が十分に対応できないために、苦情の発生が多くなっています。「訪問販売」や「通信販売」は上手に利用すれば、消費者にとっても便利な方法です。販売方法についての必要な知識を十分身につけ、これらを有効に活用することが大切になります。

訪問販売は、
三門貿易

動の場所的拡大と考えられ、家庭訪問販売だけでなく、法律では職場や路上での販売活動も含んでいます。

説明が不十分、誇大であつたために、購入商品がイメージと違つた。○販売条件が不明確であつたため、違約金のトラブルが生じた。○販売業者の責任追求が困難だった：

説明が不十分で、望まないトラブルに次いでいます。

広告ヒ
ちがう……

ています。

監視員アンケート調査)
購入した商品
ミシン・編機、書籍類、化粧品類などが主なものです。
トラブル
不満、トラブルを経験した人は利用者の約三〇%の人です。内容は、○勧説方法が強

先の監視員調査によると、
全体の三四%が利用し、広告
媒体としては、雑誌広告三三
%、ダイレクトメール三一%
新聞広告一七%などです。
購入した商品

ネガティブ・オプションと
いうのは、注文もしていない
のに一方的に商品を送り、そ
れに対して購入しない旨の明
確な通知や返品をしない限り
勝手に購入の意思ありと見な

シヨン

ネガティブ・オプションと
いうのは、注文もしていない
のに一方的に商品を送り、そ
れに対して購入しない旨の明
確な通知や返品をしない限り
勝手に購入の意思ありと見な

商法です。商品を送り付けられた人は、し、消費者にとつては迷惑をもたらす悪性の強い商法です。

規制のあらまし



●販売業者は、契約の申し込
みを受けたときや契約を締結
したときは、一定事項を記載
した書面を渡さなければなり
ません。○価格 ○支払時期
と方法 ○納入時期 ○業者
の氏名と住所 ○商品名や型
式など：

●売買契約の申し込みの撤回
や契約の解除ができます。う
まい言葉にのせられたり、う
つかり契約してしまったりし
て生ずるトラブルを防止する
ため、消費者は業者に対して
契約の申し込みをした日、あ
る商品もあります。

るいは契約をした日を含めて
四日間以内であれば、書面に
よつて、申し込みの撤回や契
約の解除をすることができま
す。（クーリング・オフ）

この場合は、損害賠償とか
違約金を支払う必要はありません。
頭金を支払ってあれば返してもら
つてもらえます。ただし、使
用してしまったとクーリング・
オフを行なうことができなくな
る場合があります。

六〇四

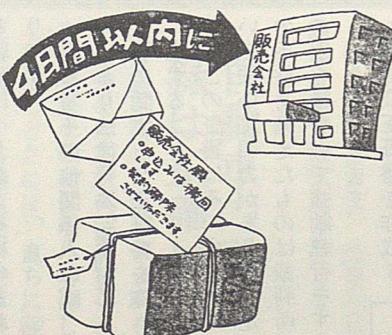
卷之三

●前払式通信販売の場合、業者は商品発送に時間がかかるときは、その申し込みの諾否や受領額などの事項を記載した書面を渡さなければなりません。

（返品できる）をあげて、いま
すから、返品できるかどうか
よく確かめて申し込んでくだ
さい。

販壳

業者から販売条
件

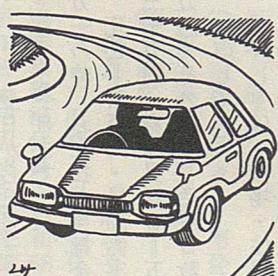


外・内を行ふと
面で業者に通知して
発送の日が四日以
できません

2 通信販売

過すると解約は難しくなり、損害賠償や違約金を支払わなければなりません。現金購入の場合はクリーニング・オフは

民俗資料寄贈品一覧表	
みの・ぞうり・わらじ・梳	こうり・版木・箱火鉢・火鉢
し櫛・夫婦鏡・木炭アイロン	・私設消火器(木・鉄製)、
・針箱・ひのし・たらい・車	鶴口・犁・二段犁・鋤・大正
付長持・水がめ・おはち・米	鋤・かつつる鋤・手押カルチ
びつ・酒がめ・焼酎がめ・お	・田植三角定規・田植はしご
かもち・飯盆・篭箕・洗い桶	・彈頭・乗馬用鞍・テレビ・
・バケツ・手桶・釜・鍋・汁	レコード・吸まわし・男蝶女蝶
杓文字・石うす(粉・大豆ひ	・宝来ぜん・三重さかづき・ぬ
き・油〆用)・油搾め道具・	りわん・砲弾・タンス・ざる。
うす・うどん・そば打機・手	
動粉挽機・擢鉢・精米用ます	
・醤油ぼち・栗むき・手皮・	
豆腐舟・餅つききね・ばたつ	
ききね・米つきお・米つきわ	
・麦つきお・ほうろく・平釜	
・角セイロ・こしき(八斗・	
四斗・家庭用)・焙烙・醬油	
舟ときりん・粂箱・たばこ盆	
・茶セイロ・南部鉄びん・燭	
徳利・一升酒ばち・鉄びん・	
弓張り提灯・傘立・盛花か	
ご・つるしランプ・こたつや	
機・自在かぎ・五徳・電灯笠	
行燈・せん風機・蠅取りびん	
・石油ランプ・ねこアンカ・	
花びん・柱時計・蠅取り器・	
掛荷鞍腹巻・錢びつ・こうり	



自動車の登録は正確に

旧軍人の方に一時金が支給されます
|| 軍歴が通算三年以上の方 ||

「郷土北浦」第六号発行
このほど北浦郷土文化研究会により、「郷土北浦」第六号が発行されました。
号が発行されて以来、とぎれりとこのほど北浦郷土文化研究会により年度内発行を目標に、各会員が精力的に執筆編集に取り組み、復刊にこぎつけたものでです。

恩給法上の「一時金」という制度をご存じでしょうか。それは、旧軍人として実際に勤務した年数が通算三年以上ある方、またはその遺族の方に一万五千円の一時金が支給されます。車を転売したり解体するというものです。

扶助料・旧軍人としての勤務年数を通算して共済年金の支給を受けておられる方はこの一時金の対象にはなりません。

憲法は明るい社会の道しるべ
—5/1~5/7まで憲法週間

本年一月に「鹿島公証役場」こと

が開設されました。

公証役場は公証人が公証人

の条件を備えたものは裁判所

の手を経ないで強制執行をす

ることもできます。

当事者その他関係人の嘱

により法律行為(契約等)

等に関する公正証書を作成する

こと。

この証書はその成立につ

いて強い証明力があり、一定の要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。

定款の認証をすること

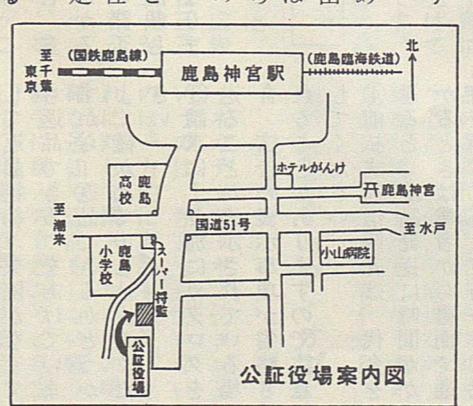
遺言者が病床等にあ

つて公証役場に自身、出

向けないような場合には

要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。



民俗資料寄贈者名簿 (敬称略)

<吉川>	小堤苟吉
<繁昌>	真家泰, 根本芳, 斎藤芳雄
<中根>	藤崎久男
<山田>	山野祝子, 鈴木勲, 関溝口保
	辺田行基, 高野敬章, 羽生隆一
	田中正次, 勢司登, 川窪通資
	大原久明, 石井慶作, 勢司和正
	石上禎亮, 内野弘, 塙正光, 墓崎健夫
	飯島正勲, 三倉仁作, 前田文市, 原富右工門
	金井仁之助, 青木仁雄, 六笠仁, 宮内金蔵, 河野憲, 柳町文男, 高野博
	柳町文男, 和田慶三, 宮内金蔵, 河野憲, 柳町文男, 高野博
	高野博, 菅谷正一, 後藤信雄, 原尚敏, 塚本孝作, 原伸吉
	男庭忠

たいといふ考えから行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

で後世へ引き継ぎたいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

協力を得て、村内の各家庭から民俗資料を収集し保存しています。

これは、昔から使用された生活用具、娯楽用具等が生活文化の発達により無くなろうとしている現在先人の知恵や生活を知り、それらを保存することにより、文化遺産として後世へ引き継ぎたいといふ考え方から行うものです。

五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

たいといふ考え方から行うものです。
五十七年度には、十月を第一次、十二月を第二次収集として、教育委員会へ申し出のあつた各家庭をまわり、五十八家庭・三百八十点をご寄付いただき、旧三和小学校

『鹿島公証役場』が開設されました

存在していましたことを証明する場合など、いろいろの場合に利用されています。

公証役場の所在地

のほか、後のためにはその当

日附が必要とされているなど

のものばかりです。

公証役場は公証人が公証人

の条件を備えたものは裁判所

の手を経ないで強制執行をす

ることもできます。

当事者その他関係人の嘱

により法律行為(契約等)

等に関する公正証書を作成する

こと。

この証書はその成立につ

いて強い証明力があり、一定の要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。

定款の認証をすること

遺言者が病床等にあ

つて公証役場に自身、出

向けないような場合には

要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。

定款の認証をすること

遺言者が病床等にあ

つて公証役場に自身、出

向けないような場合には

要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。

定款の認証をすること

遺言者が病床等にあ

つて公証役場に自身、出

向けないような場合には

要請により公証人が自ら

病床等に出張して証書の作成を行います。

定款の認証をすること

遺言者が病床等にあ

つて公証役場に自身、出</

区長さんが
かわりました

皆さんと村行政を結ぶパイプ役として、活動していただく区長さんが決まりました。

(◎会長)

○副会長)

農業委員無投票できまる

任期満了による農業委員会 委員の一般選挙が行われ、二 十名が無投票で選出されました。	た。	栗俣 章一（長野江）現 一條 亘（行戸）新 六笠 彌彌（両宿）現 清水 浩衛（内宿）新 塙 孝造（次木）現 石橋 康男（行戸）新 須賀 光一（三和）新 齋藤 利雄（小幡）新 北谷 旦（小幡）新 関根 原義晴（小貫）現 郡司 正夫（吉川）原 務（繁昌）現 （山田）現 内野益太郎 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）	横瀬 黒崎 昌市（山田）現 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）										
三月二十、二十一日の両日 に立候補受付がありましたが 選挙定数の二十名しか立候補 がなかつたため無競争になつ たものです。	た。	栗俣 章一（長野江）現 一條 亘（行戸）新 六笠 彌彌（両宿）現 清水 浩衛（内宿）新 塙 孝造（次木）現 石橋 康男（行戸）新 須賀 光一（三和）新 齋藤 利雄（小幡）新 北谷 旦（小幡）新 関根 原義晴（小貫）現 郡司 正夫（吉川）原 務（繁昌）現 （山田）現 内野益太郎 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）	横瀬 黒崎 昌市（山田）現 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）										
当選された二十名の方、及 び農協・農業共済組合・議会 からの推薦による方は次のと おりです。（届出順）	た。	栗俣 章一（長野江）現 一條 亘（行戸）新 六笠 彌彌（両宿）現 清水 浩衛（内宿）新 塙 孝造（次木）現 石橋 康男（行戸）新 須賀 光一（三和）新 齋藤 利雄（小幡）新 北谷 旦（小幡）新 関根 原義晴（小貫）現 郡司 正夫（吉川）原 務（繁昌）現 （山田）現 内野益太郎 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）	横瀬 黒崎 昌市（山田）現 河野 春尾（次木）現 （武男）中根（稔）（三和）現 大堀 浩（繁昌）現 久米勇之助（成田）現 石橋 英雄（南高岡）新 （議会推薦・四名） 小林 茂（北高岡）現 斎藤 三義（両宿）現 宮本 浩三（山田）現 （農業共済組合推薦・一名） 米澤 精一（次木）現 （農協推薦・一名）										

序	内	人	事
◎退職	和田 春雄 (給食センター・技手)	小沢 勝雄 (武田小学校・用務員)	産業課・主事
◎異動	齋藤 俊雄 (財政係長兼消防交通係長)	ごくろうさままでした。 三月三十一日付	鈴木 恵子(出納室・主事) 建設課・主事
総務課長補佐兼財政係長	河野 一郎 (保険衛生課・主事)	藤崎 弘子(住民課・主事) 住民課・主事	松下 吉雄(税務課・主事)
教育委員会事務局・ 総務係長	細内 一三 (三和小学校・用務員)	武田 小学校・用務員 (保健衛生課・主事)	教育委員会事務局・主事
給食センター・調理手			

序
內
人
事

県内では、昭和五十七年中三百七十七件（人身一万零二千二百九十七件・物損二万二千一百二十七件）の交通事故が発生し、三万三千四百七十四人が負傷したほか、三十五億三千四十万五千円の財産が失なわれています。しかも、発生件数、死者、負傷者など、昭和五十六年に比較していずれも大幅に増加しています。

運転記録証明書」を申し込んだ
ドライバーが、証明日以前に一
年以上の期間無事故・無違反で
あれば、無事故・無違反の年数
を表示した「SDカード」を贈
呈しています。

「SDカード」は安全運転者
のしるしです。一人でも多くの
ドライバーが「SDカード」を
手にし、無事故・無違反の年数
をさらにのばし、安全運転者の
誇りと自覚をもつて模範運転を
されることを希望します。

証明書は、

東茨城郡茨城町長岡三七八三一
三（警察本部運転免許課庁舎内
自動車安全センター）

茨城県事務所

（○二九二九（3）八二二一～三
に直接または郵便振替によつて



〈表〉



〈 裏 〉

県民交通災害共済 家族そろってが

受けて実施されています

受けて実施されています。昭和五十七年度に実施された無線放送施設設置事業は、国庫補助金の他に事業費の一部として、簡易生命保険積立金からなる還元融資が利用されています。このように、郵政省の簡易生命保険の積立金は、私たちの不慮の事故や灾害、老後の生活保障のためばかりでなく、村の事業推進に役立っています。

詳しくは、役場・住民
課へお尋ねください。

昭和五十八年の手手続きをしましょう。	
年度の県民交 会 費	年額六百円（中学 生以下三百円）
通災害共済の 加入受付が行 共済期間	＝毎年四月一日から 翌年三月三十一日
務所または警察署、派出所及び 駐在所にあります。	わかれています。

村では、北浦の水質浄化対策の一環として、五十六年に生活雑排水処理試験施設（十カ所・三方式）を設置し、処理効果と周辺の意識づくりをすすめました。



生活雜排水處理施設工事業

改モーフル事業
村内55カ所に設置

生活雑排水処理施設
モデル施設設置状況（敬称略）

桜井徳治郎・横田福夫・斎藤信市・宮本勝
・塚本義行・南高岡||柏原時男・池田静
長峰正光 行戸||前田利男・前田清美・田
上浩三 小幡||野村薰・千ヶ崎馨・宮内芳
男 北高岡||斎藤清志 山田||横瀬孝・高
柳嘉兵衛・原亮 三和||小島勝雄・沼田六
兵衛・額賀信二・村上喜一・須賀光一・河
野忠次・森崎興正・額賀一夫 成田||久米
孝聰・成田忠雄 内宿||近藤守夫 兩宿||
内田泰山・宮内俊行 小實||五十野芳男・
松本治男

○ 善意

三和小学校へ
○ 刺しゅう絵額 「一枚」
○ 東野サカエさん（長野江）
○ シュロ竹 「一鉢」 小林
○ 幹明さん（三和）より
○ ぞうきん「百枚」竹ぼう
き 「二十本」 東寿会（代
表・須賀光尾）より
○ 鼓笛樂器・樂器戸棚 三
和区民より

津澄小学校へ
○ チューリップ球根 「千八
百球」 横田藤男さん（繁
昌）より
○ ぞうきん「二百枚」竹ぼ
うき 「五十本」 吉川老人
クラブ長樂会（代表・立花
了介）より
○ カラーテレビ「一台」
大野喬造さん（繁昌）より

○ トロヒィー 米沢精一さ
ん（次木）より
○ パンダウサギ 「二匹」 小
沼伝六郎さん（両宿）より
○ 金五千円也 中川文男さ
ん（麻生町白浜）より

幼稚園へ
○ 樹木 「さくら七本・うめ
二本・さつき一本・かんつ
ばき一本・ざざんか一本・
ちんちょうげ一本・はくれ
ん一本・つばき二本・アメ
リカ花みずき一本」 内野
文雄さん（山田）より

老人福祉センターへ
○ 座布とんカバー 「百枚」
鈴木富貴さん（内宿）より

あ
と
が
き

○ 五十八年度の予算が決まり
ました。少ない予算を最大限
に生かすため、村民の皆さん
のご理解とご協力をお願ひし
ます。

○ 村民第二グランド（旧三和
小学校グランド）に、テニス
コート二面・クロッケーコー
ト三面が完成しました。皆さ
んのふれあいの場としてご利用ください。

○ 孝之さん（次木）より
○ モミの木 「一本」 城一
男さん（次木）より
○ 石灰 「五袋」 額賀淳さ
ん（両宿）より

○ バラの花 「百本」 店曲

○ モミの木 「一本」 城一
男さん（次木）より
○ 石灰 「五袋」 額賀淳さ
ん（両宿）より

○ バラの花「百本」 店曲 孝之さん（次木）より

○ モミの木「一本」 壇一 男さん（次木）より

○ 石灰「五袋」 額賀淳さん（両宿）より

幼稚園へ

○ 樹木「さくら七本・うめ二本・さつき一本・かんつばき一本・ざざんか一本・ちんちょうげ一本・はくれん一本・つばき二本・アメリカ花みずき一本」 内野文雄さん（山田）より

老人福祉センターへ

○ 座布とんカバー「百枚」 鈴木富貴さん（内宿）より

あ
と
が
き

○ 五十八年度の予算が決まりました。少ない予算を最大限に生かすため、村民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

○ 村民第二グランド（旧三和小学校グラウンド）に、テニスコート二面・クロッケーコート三面が完成しました。皆さんのふれあいの場としてご利用ください。

-10-